

## 3年英語の課題のアドバイス

### ① 長文問題を解こう！

プリントにあったように『基礎英語長文問題精講』の p.14～70 までを課題用ノート(またはルーズリーフ)にやるのが課題ですが、「もう終わりつつあります！」という人の声も聞きます。もちろんすでに終わった人はどんどん先にやり進めてください。

本文にはデータベースや既習の単語、文法事項にプラスして知らなかった単語や表現などもでてくると思います。知らなかった単語、熟語、文法事項に関しては鉛筆、蛍光ペンなどでチェックし、あとで確認できるようにしていきましょう。

テーマも1『外国語学習の重要性』、2『英語の重要性』、3『アメリカと日本の違い』、4『子供時代』5『不思議の国のアリス』、6『ユーモアの感覚』、7『窓ぎわのトットちゃん』(←黒柳徹子さんのご著書で昔ベストセラーになった本)など多岐にわたっており教養も深めていってください。

また、本文を読み、問題を解くだけでなく、英作文にも使える表現も多々ありますので、でてきた単語、表現を「使う」ということを意識してやっていってください。

### ② 英作文について

課題の「英作文 300 題」はすべて入試問題の過去問で構成されています。2年生のように、授業で習ったフレーズを応用すれば書くことができる、というものではないので、戸惑う人もいるかと思います。そこで、今回は入試英作文を得意にするためのコツを紹介します。

コツは「問題文の日本語を、意味がより具体的になる日本語に修正しよう」です。

日本語の特徴として、「ことばの抽象性が高い」ことが挙げられます。つまり、ひとつの動詞や形容詞が多くの意味を持ってしまっています。例えば「私は地方で小さな書店をやっていますが、最近是不景気で大変です」という文章。これを英訳すると、「やっている」→do? 残念ながら do には「経営する」という意味はありません。英語の動詞は抽象性が弱いので、do に多くの意味を持たせることはできません。ここでの動詞は run や own などが適切でしょう。日本語を直訳しようとする、うまくいかなくなってしまうのはこういうところ。では「大変です」はどう訳しますか? これは自分で考えてみてください。

ということで、日本語よりも意味の幅が狭い英語で文章を書くためには? そうです「語彙力」が何よりも大切です。知らなければ書けない(そして読めない&聞けない&話せない)のですから。英作文の練習とともにデータベースももういちど Level1 からやり直してみてください。意味が分かって、英作文で使いこなすとなるとどうでしょうか? その動詞は自動詞か他動詞か、that 節がとれるのか、to 不定詞がとれるのか、目的語は2つとるのか、なども確認してみましょう。

### ③ リスニング力をつけよう！

『共通テスト』の試行テストのリスニングパートを聞くことが課題です。やってみましたか? 傾向をつかむとともに、自分の今の時点での力を知り、今後のリスニング対策に役立ててください。教科書・副読本販売で購入した『共通テスト10分リスニングプレノート』の付録に『共通テスト必携ガイドブック』という付録冊子があり、その中に「大学入試共通テスト」試行調査の「リスニング」の分析と解説、正答率が掲載されていますので、参考にしてください。

また、NHK の英語講座ではさまざまなレベルの多様な講座が開講されています。テキストは本だけでなく電子版でも発売されています。テキストがなくてもレベルを選べば十分勉強になります。期限はありますがストリーミング配信されていますので、ぜひ、将来に向けても気に入った講座を継続して聞いてみてください。